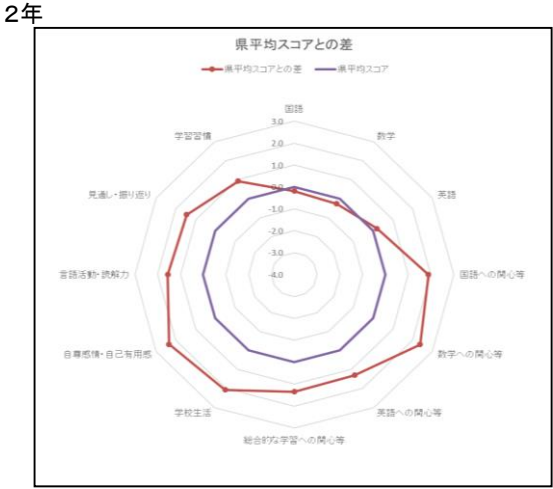
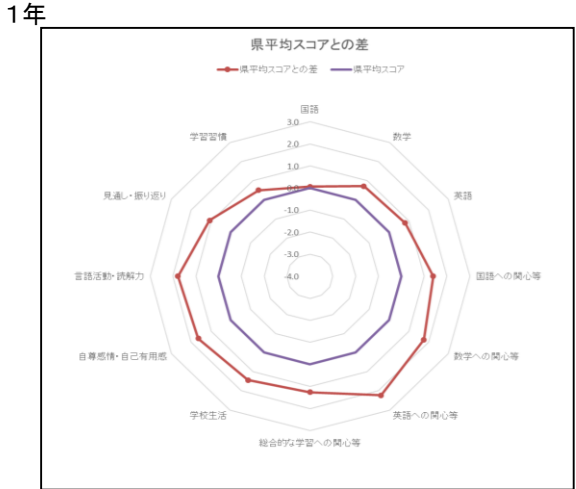


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立本庄中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○教科への関心は、県平均より高い。 ○話し合いをもとに自分の考えをもつことができる。 ○設問を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 ○知識、体験と関連づけて、自分の考えをもつことができる。 ●漢字を正しく書く力がやや弱い。 ●資料を読み取って考えを書く力がやや弱い。	・関心をもてる課題設定を継続していく。 ・毎時間の漢字テストを継続し、漢字の知識を定着させていく。 ・小グループで話し合いをする学習活動を継続し、相手の意見をもとに考えを広げる力を伸ばす。 ・資料を用いた調べ学習を設定し、情報を読み取る力や読み取ったことをもとに自分の考えをもつ学習活動を行い、情報と関連づけて考えをもつ力を伸ばす。
	数学	○教科への関心は、県平均より高い。 ○正答率はもちろんのこと、領域別、観点別、問題形式別でみても全て県平均より高い。 ○問題形式の中で、記述式の問題が22.8ポイントも高い。 ●領域別において、資料の活用が県平均より高いが、本校だけでみると低い。	・平素の授業で興味関心のもてる教材を開発する。また、授業中に、生徒の発言を具体的に価値づけして褒め、生徒の自己肯定感を高める。 ・「記述を読み合う指導」で読解力やメタ認知を上げる。また、「数学レポート」で深い理解や表現力を高める。さらに、「他者の考えを推し量る指導」で、多角的・多面的な見方を育む。 ・興味関心は高いが、結果が残せていない生徒に対して、自己肯定感を高めつつ、解き方よりも意味理解を促す。また、教材において、数学としての必要性を理解できるようにする。
	英語	○教科への関心・正答率とも県の平均より高い。 ○言語や文化についての知識・理解、理解の能力、表現の能力の3つの観点のどすべての設問で、県の平均を上回っている。 ●上回ってはいるものの表現についてはその差が小さく、今後強化していく点と考える。	・現在の関心・意欲を存続していけるように、きめ細やかな指導を継続する。 ・単語力など基本的な学習を丁寧に継続する。 ・教科書の音読など基本的な学習も丁寧に継続する。 ・話したり書いたりする言語活動など、発展的な学習の場をできるだけ多く設定する。
2年	国語	○教科への関心は、県平均より高い。 ○言語事項に関する知識は身についている。 ○情報を正しく選択することができる。 ○自分の考えをもつことができる。 ●文章や資料から情報を読み取る力が弱い。 ●読み取ったことをもとに考えを書く力が弱い。	・関心をもてる課題設定を継続していく。 ・毎時間の漢字テストを継続していく。 ・文章から情報を読み取る学習課題を各単元の初めに設定し、文章を丁寧に読む力を伸ばす。 ・発展課題として、資料から情報を読み取って考えを書く活動を設定し、自分の考えを適切に表現する力を伸ばす工夫をする。
	数学	○教科への関心は、県平均より高い。 ○関数領域は県平均より高い。 ●正答率はもちろんのこと、領域別(関数領域の除く)、観点別、問題形式別でみても全て県平均より低い。 ●正答数が6問以下の生徒が過半数を超える。	・平素の授業で興味関心のもてる教材を開発する。また、授業中に、生徒の発言を具体的に価値づけして褒め、生徒の自己肯定感を高める。 ・「記述を読み合う指導」で読解力やメタ認知を上げる。また、「数学レポート」で深い理解や表現力を高める。さらに、「他者の考えを推し量る指導」で、多角的・多面的な見方を育む。 ・成果が出ていない生徒も関心意欲は高く、わからないところを明確に言える生徒が多い。その姿勢を大切に、1年次からの復習をしつつ、授業を展開していけばさらに伸びると考える。
	英語	○教科への関心・正答率とも県の平均より高い。 ○英文を読んで理解し、正しい答えを選ぶことができる。 ●図表などの資料を使った英語の設問に対応する力がやや弱い。 ●対話の流れをふまえて、適切な応答を選んだり、適切な英文を書く力が弱い。	・単語の練習や音読など基本的な学習を丁寧に行う。 ・既習の英語を使って、日常の出来事や自分の気持ち・考えを表現する場をできるだけ設定する。 ・課題解決的な言語活動や、英語を聞いたり、英語を読んだりして考えたことを、英語で表現する場を設定する。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	69	66	77
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

受検者数
1年生 14 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○教科への関心は、県平均より高い。 ○話し合いをもとに自分の考えをもつことができる。 ○設問を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 ○知識、体験と関連づけて、自分の考えをもつことができる。 ●漢字を正しく書く力がやや弱い。 ●資料を読み取って考えを書く力がやや弱い。	・関心をもてる課題設定を継続していく。 ・毎時間の漢字テストを継続し、漢字の知識を定着させていく。 ・小グループで話し合いをする学習活動を継続し、相手の意見をもとに考えを広げる力を伸ばす。 ・資料を用いた調べ学習を設定し、情報を読み取る力や読み取ったことをもとに自分の考えをもつ学習活動を行い、情報と関連づけて考えをもつ力を伸ばす。
	家庭学習に関わる事項	○効果的な学習方法の指導がされていると感じている生徒の割合が高い。 ○進んで家庭学習をしていると回答している生徒の割合が高い。 ○宿題をきちんとしている生徒の割合が高い。 ○平日のメディア使用の時間が少ない生徒が多い傾向にある。 ●8割の生徒が予習をしていない。 ●計画的な家庭学習が身についていない生徒が多い。 ●平日の学習時間が1時間未満の生徒の割合が高い。	・生徒の学習意欲が継続するように、課題の指導の取組を工夫していく。 ・生活ノートのやりとりを活用して、生活習慣や計画的な家庭学習の指導を継続していく。(褒めて励ます) ・「予習」の意識づけをできるような課題の提示の仕方を工夫していく。 ・学校から提示された課題以外にどのような勉強の仕方があるのかを、具体的に指導していく。
2年	授業改善に関わる事項	○話し合う学習活動を多く経験し、自分の考えを発表する場がある。 ○グループ活動が定着し、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできていると実感できている生徒が多い。 ○学校図書館などの本を使った授業に関心が高く、図書館を使った授業が役に立っていると実感している生徒が多い。	・様々な教科でグループ学習による話し合いを計画的に実施する。 ・様々な教科で学校図書館を使った授業実践を行う。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習は毎日の宿題を中心に取り組んでいる。 ●家庭学習として、授業の予習や復習に取り組む割合が低い。 ●1日あたりの携帯電話やゲームをする時間が多い。	・授業内容の予習・復習の意義を伝え、具体的な学習方法を教える。 ・家庭と連携しノーメディアデーなどの取り組みを継続する。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

